

uPlatea: ubilaプロジェクト有楽町実証実験拠点

住所: 〒100-0006東京都千代田区有楽町
一丁目10番1号 有楽町ビル408号室
管理機関: 慶應義塾大学

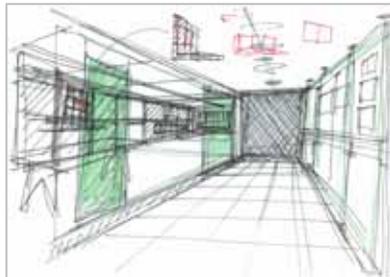


Plateaはラテン語で「広場」を意味する

■目的

ユビキタスネットワーク実証実験拠点 uPlateaは、その成果を皆様に公開し、実証実験を実施するなど、ユビキタスネットワーク社会の実現のために開かれた広場となる拠点を旨す。

<http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/uPlatea/>



議論(紙上)



設計(CG)



完成(実物)

uPlatea: 慶應義塾大学 有楽町実証実験拠点

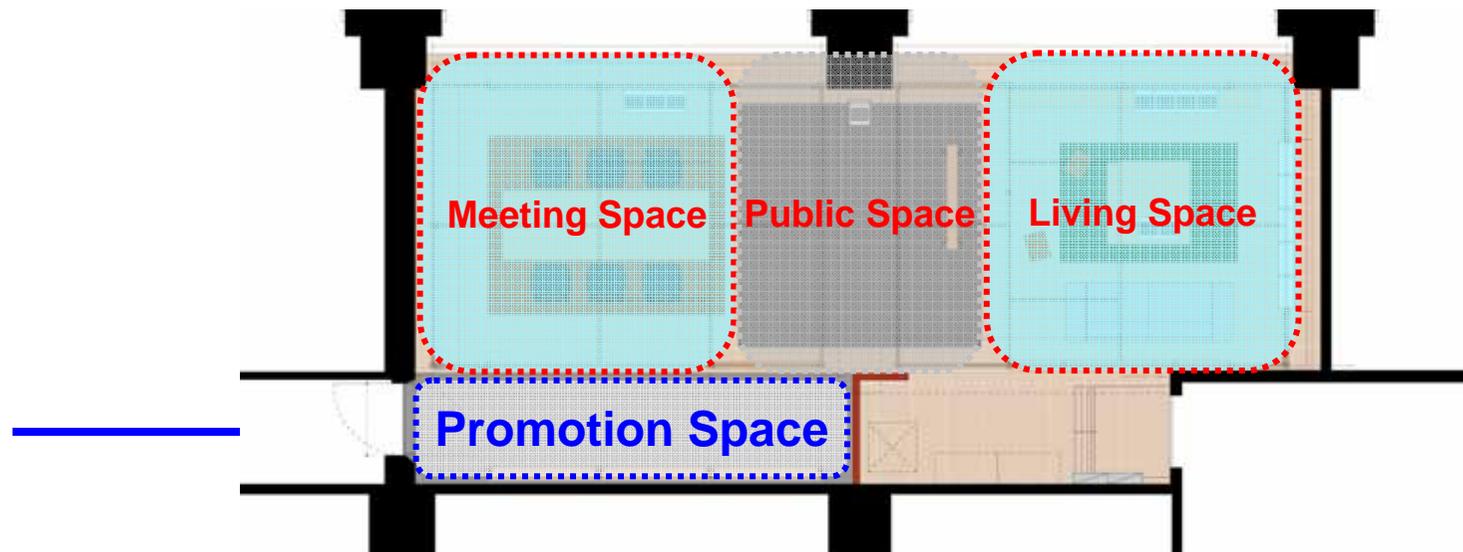
主な特徴

■ユビキタスネットワーク技術の実利用を念頭に置いた空間デザイン

- ✦目に見えるコンピュータ、センサ、ネットワークを極力軽減
- ✦目に見えないコンピュータ、センサ、ネットワークも将来的には最少化
- ✦既存の機器との連携だけでなく、生活空間や家具との調和を考慮

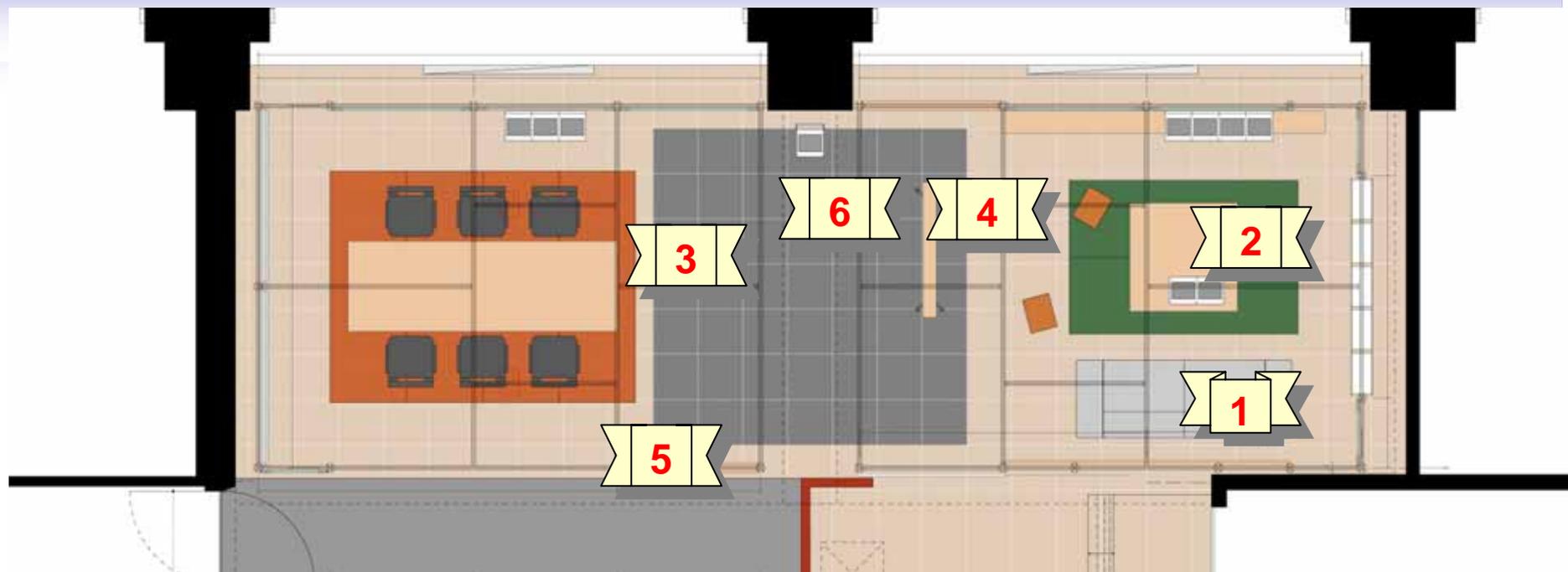
■複数の異なった空間を模擬したレイアウト

- ✦現状は、ミーティング空間、公共空間、リビング空間を模擬
- ✦ネットワーク構成も空間ごとに分離(サービスローミング、遠隔操作の実験等を実施予定)



uPlatea: 実証実験内容

6つのデモンストレーションを設置



1. 状況を考慮したファッションコーディネート (T3連携, NEC)
2. 直感操作ネットワーク (T2連携)
3. 位置情報に応じたシームレスなアクセス網の選択技術 (T1連携)
4. u-Texture: ユビキタスサービスを創造する自由に組み替え可能なユニバーサルパネル (慶應)
5. uPart: 小型センサノードを用いた環境モニタリング (慶應)
6. 顔認証センサとLEDの連携 (慶應 + ユビキタスセンサーネットワークチーム)

uPlateaの現状と今後



毎月1回以上公開

第1回公開日 2006/02/27 100名以上のご参加

第2回公開日 2006/03/08 60名以上のご参加

第3回公開日 2006/04/14

マスコミ(ITメディア,nikkeiBP社,毎日com)による掲載
雑誌新建築等、パソコン関係雑誌等による紹介



- 他の実証実験拠点との連携実験を予定
東京大学(秋葉原)・九州工業大学(北九州)
高速ネットワークによる接続(JGN2)

